

## 乗鞍岳・穂高岳

2013 年 7 月 27 日～7 月 30 日

Report by 堀

今年は 7 月早々に梅雨明け、夏のスタートは早かったが、その後しばらくの猛暑のあと“戻り梅雨状態”になってぐずついた天候が続き、すっきりしないまま当日を迎えてしまいました。

今日（7/27）も隅田川の花火が、途中で雷雨のため中止となりました。

今回の山行は、日程短縮と費用削減のために夜行バスを利用する計画を立てましたが、吉松さん、光上さんと御嬢さんの佐藤さん、小峰さんは松本駅近くに前泊。また、田形さんは乗鞍岳観光センター近くに前泊ということで、深夜バスは私（堀）だけとなってしまいました。



7 月 27 日(土)深夜 11：50 新宿駅西口バスターミナル（発）

深夜にもかかわらず、バスターミナルは出発を待つ人・人・人



ボードを見ると空席はほとんどない。

定刻から少し遅れてバスは出発。満席となっていたので、すし詰めかと思ったが、一人で席二つ分は確保されているようだ。すぐに消灯され睡眠時間となる。1 時間ちょっとの談合坂 SA でトイレタイム。明日の朝食にサンドウィッチを買う。このあと 2 回の小休止があったが、私を含め降りずに寝ている人が多かった。

腰が痛い。やっぱり我々の年齢では深夜バスはやめた方がいいかな？

04:20 新島々バスターミナル着。私ともう一人が下車。まだ真っ暗だ。あとの人たちはそのまま上高地方面に向かう。乗鞍方面には待ち合わせ時間より早いバスが 2 台あるが、新島々の待合室で朝食のサンドウィッチを食べ、観光センター～昼平までの乗車券を購入（3700 円）。松本前泊組を待つこと 3 時間半。この間、待合室で仮眠。



7時過ぎ、ようやく松本組と無事合流。8時5分新島々発のバスに乗車。



観光センターで合流予定の田形さんから電話があり、豊平行のバスは非常に混んでいるので列に並んでおくとのこと。観光センターでバスを乗り継ぎ、乗鞍岳山頂駅（豊平）まで。バスを降りると、広大な残雪の斜面が広がり、夏スキーを楽しむ人たちがいっぱい！この時季にスキーと言え、月山かここくらいだろう。5月に行った御嶽山は5月連休でお仕舞だ。それにしても大きな山だ。



標高 2700m までこんな大型バスが沢山登ってくる。レストハウスのコインロッカーに不用品を預け、いよいよ登山開始。ここまでにバスの遅れや支度で予定より 30 分の以上の遅れである。





まずは安全を祈願。  
右書きで「乗鞍本宮」とある。



バスターミナルから富士見岳の東（右）側を巻いて肩の小屋に向かうつもりだったが、道路崩壊で通行止めになっているとのこと。

鶴ヶ池の上を通り富士見岳を大きく迂回するルートを通ることになる。通行止めの表示がどこにもないのはいかにも不親切だ。



登山客の長蛇の列。  
バスで登れるので、ビニール合羽にスニーカーといった軽装者が目立つ。





鶴ヶ池を下に見ながら緩やかな登りである。画面手前のコバイケイソウが瑞々しい。



赤紫のヨツバシオガマが群生している。



コマクサも可憐な花を付けている。霧と霧雨で葉には水滴がついて瑞々しさをいっそう引き立てている。





ミヤマダイコンソウ



イワツメグサ



ハクサンイチゲとコバイケイソウ





熊が出るようだ。



乗鞍観測所（旧コロナ観測所）に資材を輸送するためか、トラックでも通れる広い砂利道になっている。山登りという感じではないが、高山植物は多く楽しめる。





肩の小屋を通り過ぎるとやっと登山道になる。  
霧のためメガネに水滴が付く。



蚕玉岳（こだま岳）奥が霧に煙る剣ヶ峰（3026m）

光上さんはこの手前で遅れ、待機となる。



1 時間遅れの 12:30 登頂。

剣ヶ峰の乗鞍本宮社でさっそく登頂写真撮影。

小峰さんのメガネの右レンズは水滴で曇っている。





更に山頂標識杭の前でも記念撮影。

ここで持参のワインで乾杯し、各々持参の昼食を摂る。

私事だが、これで主要 3000m 峰 14 座<sup>(注)</sup>を登頂。クマさん会 10 周年パーティ以来“いずれは”と目標にしていたが、格別の感慨はない。

下山路、蚕玉岳を下ったところで光上さんと無事合流。



コイワカガミ



ヨツバシオガマかと思ったが、これはミヤマシオガマのようです。





チシマギキョウ

肩の小屋を過ぎ、更に下った辺りで後ろから乗鞍岳のみ参加の光上さん達 3 人が猛然とスピードアップして追い越していく。(光上さん、壊れちゃったのかな、大丈夫ですか?・・・)

「14:05 のバスに乗りたい」とのことで、一気にスピードアップしたのだとのこと。

畳平のバスターミナルも目前となって、その光上さんが転倒!

立ち上がる気配が無い。

手のひらに裂傷、おでこにすり傷。レストハウスで応急手当てをしてもらった。

心配だったが、穂高組は 14:50 の平湯行のバスで帰京組をあとに残して出発。

帰京組は 15:05 のバスで畳平～観光センター前～新島々経由で帰宅。

穂高組は 15:50 平湯。ここでバスを乗り継ぎ、上高地バスターミナル 16:30 着。嘉門次小屋には平湯から「到着が遅れる」と連絡してあったが、再度連絡を入れてスタート。

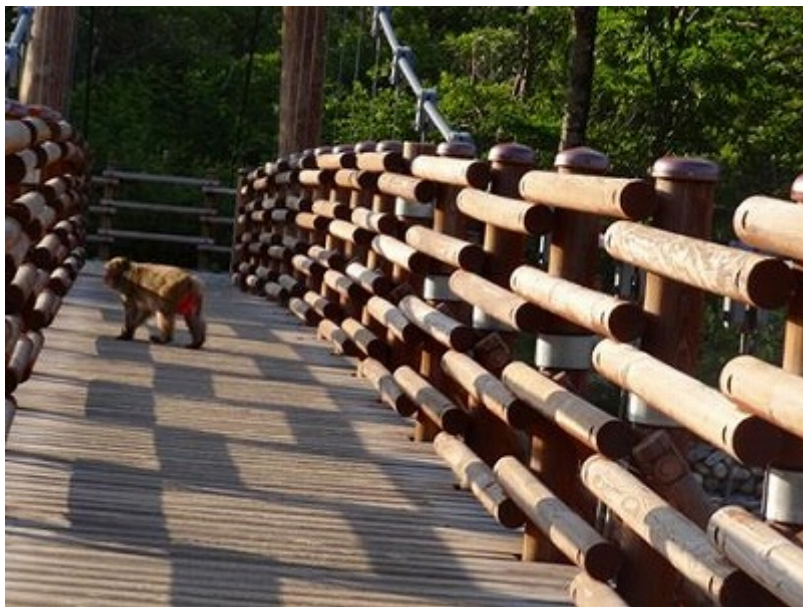


ここから河童橋を経由して明神池の嘉門次小屋へ林間の道を行く。

河童橋では「イチオシ」だというソフトクリームを田形さん食べる。それにしても食い意地が張っていると感心しながら、堀も付き合う。



大きな猿が明神橋を渡っているのに遭遇。



17:30 嘉門次小屋に到着。この小屋は、男女別相部屋で、男部屋は私と吉松さんともう一人年配の登山者の3人でした。田形さんの部屋は数人の女性と相部屋。風呂があるのがうれしい。

さっそく一風呂浴びて 6:30 夕食。

夕食後、囲炉裏部屋でワインで一杯。

小屋の人からイワナの燻製を2匹頂く。なかなかの美味！



この時残したイワナは、吉松さんがしっかり保管しており、帰りの列車でも好い肴になりました。

翌日、深夜から雨音がしており、5時に出発すると言っていた同室の年配者も一向起きる気配が無い。

6時出発予定に合わせて田形さんは張り切って出発準備を整えているが、食堂でテレビを見ると我々の居る辺りに強い雨雲が貼りついて、すぐには動く気配が無い。明日も回復する見込みは薄そうだ。

結論として穂高登山は諦め、温泉に入って美味しいものでも食べようということになる。





小屋の前の明神池（穂高神社）は、入場料¥300 を払う気が無いのでパス。嘉門次小屋を 9:00 に出発。昨日とは逆に梓川の右岸を歩いて河童橋へ。



大きく派手な花だが・・・名前がわからない。オトギリソウの仲間かとも思ったが、カンゾウやニッコウキスゲなどと同じユリ科の植物のようである。



河童橋に到着。雨は降り続く。





上高地バスターミナルから平湯行きのバスに乗り、  
10:55 平湯着。バスターミナル前のレストハウスで昼食。  
近くの宿泊案内所で手頃な旅館を紹介される。  
（「栄太郎」という館屋さんのような名前）

一泊 2 食付で、¥10,620（だったと思う）

吉松さんと私はさつそく缶ビール、そのあと入浴。あまり広くはないが、各源泉が違う内湯、野天風呂が 2 セットある。

夕食は馬刺し、飛騨牛、鮎の塩焼き、釜めし、朴葉味噌で豪華！

（帰宅したら、ナント 2.5 kg も体重が増えていた）



幸福そうな吉松さん

翌日（7/30）、引き続き槍ヶ岳登山予定がある田形さんを残して、吉松さんと私は平湯発 8:45 の松本行バスで松本へ。松本からは 10:10 のスーパーあずさ 14 号で、恒例の社内宴会ををやりながら八王子 13:05 着で帰宅しました。  
天候に恵まれず、コストパフォーマンスの悪い山行となってしまったが、温泉、飲食を楽しみ、それなりに満足した山行となりました。



(注)

主要 14 座、年月日は堀の登頂日です。

1	<b>富士山</b>	<b>2006/8/3</b>	3776
2	<b>北岳</b>	<b>2008/7/18</b>	3193
3	<b>穂高岳</b>	<b>2006/9/30</b>	3190
4	<b>間の岳</b>	<b>2008/7/18</b>	3189
5	<b>槍ヶ岳</b>	<b>2003/10/3</b>	3180
6	<b>荒川東岳</b>	<b>2011/8/1</b>	3141
	<b>(悪沢岳)</b>		
7	<b>赤石岳</b>	<b>2009/7/26</b>	3120
8	<b>御嶽山</b>	<b>2007/5/5</b>	3067
9	<b>塩見岳</b>	<b>2012/8/29</b>	3052
10	<b>(西)農鳥岳</b>	<b>2008/7/19</b>	3051
11	<b>仙丈ヶ岳</b>	<b>2008/10/8</b>	3033
12	<b>乗鞍岳</b>	<b>2013/7/28</b>	3026
13	<b>立山</b>	<b>2007/7/28</b>	3015
14	<b>聖岳</b>	<b>2012/7/30</b>	3013
	<b>【番外】</b>		
—	<b>劔岳</b>	<b>2007/7/27</b>	2999

\*劔岳は、かつては 3000m 峰だったが再測量で外れた。